

取組と目標に対する自己評価シート

年度	平成31年度
----	--------

前期（中間見直し）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・介護予防教室出前講座（住民団体支援型）～実施回数 27回 参加者数 354人・介護予防教室（個人参加型）～実施回数 12回 参加者数 119人・地域リハビリテーション活動支援事業 ～実施回数 3回 参加人数 109人
自己評価結果
<p>・介護予防普及啓発事業として、今年度からこれまでの住民主体の通いの場で行う「介護予防教室出前講座」に加え、市内3ヶ所の公共施設で個人参加型の「介護予防教室」を併用で実施している。</p> <p>目標値として、実施回数をあわせて50回以上としているが、前期で39回実施できていることから目標値の達成は可能と考える。</p> <p>・地域のリハビリ専門職を活用した地域リハビリテーション活動支援事業として、昨年度、地域介護予防活動支援事業として実施した「通いの場リーダー研修」と介護予防普及啓発活動の「シニア元気アップ講座」を統合した「介護予防活動リーダー育成研修」を新たに実施している。参加実人数が34人と少ない状況であったが、事後アンケートによる参加者の満足度は94%と高かった。</p>
課題と対応
<p>・介護予防普及啓発事業として、個人参加型の「介護予防教室」については今年度、新たな取り組みであるため、実施回数だけではなく、質的な評価を事業終了時に行う必要がある。</p> <p>・地域リハビリテーション活動支援事業として、地域のリハビリ専門職の専門的知見を取り入れた「介護予防活動リーダー育成研修」を実施し、内容については、事後アンケートの結果、参加者の満足度が高く、全日程受講し修了証を発行した人が20人と約6割いること、普段活動している団体でも活用できると回答した割合が84%と高いこと等から、効果的であったと考えるが、参加者数については地域活動の担い手の育成の観点から、さらに効果的な周知啓発方法の検討が必要である。</p>

後期（実績評価）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・介護予防教室出前講座（住民団体支援型）～実施回数 58回 参加者数 793人・介護予防教室（個人参加型）～実施回数 27回 参加者数 314人・地域リハビリテーション活動支援事業 ～実施回数 3回 参加人数 109人
自己評価結果
<p>・個人参加型の「介護予防教室」は市内3ヶ所の公共施設で毎月1回ずつ6～2月に実施（3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）し、延べ314人が参加した。また住民主体の通いの場で行う「介護予防教室出前講座」についても58回実施し、延べ793人が参加している。事後アンケートでも約8割が満足、ほぼ満足と回答している等、一定の効果は得られたと考える。</p>

・新たな取り組みである個人参加型の「介護予防教室」について、参加者の状況を見てみると実人数は78人となっており、平均の参加回数約4回、4回以上の継続参加者は42人（54%）、反対に1回のみで参加しなくなった人の人数が22人（28%）となっている。介護予防を広く普及することはできたと考えるが、継続して参加する人がさらに増えるよう内容の充実、参加者への働きかけが必要と考える。

課題と対応策

・住民団体支援型の介護予防教室出前講座に加え、個人参加型の介護予防教室を市内3箇所の会場で定期的実施し、広く介護予防の普及啓発を行うとともに、継続参加に向けての支援について検討し、内容の改善を行う。

・地域リハビリテーション活動支援事業について、地域のリハビリ専門職が地域に出向き、住民団体等に対して専門的な知見から、介護予防に関する効果的な支援ができることを周知啓発することによって、参加者の増加につながるよう具体的な手法について検討していく。